

地域・市民・学生・行政それぞれのスキルを持ち寄り、連携した金沢のまちづくりを推進しています。



まちづくり HUB Project in 金沢

KANAZAWA
TSUNAGARU

材木地区

材木地区町会連合会 × 金沢大学 ボランティアさぼーとステーション



きっかけ 地域活動に参加する若い世代の力が足りない。→金沢大学に相談。

活動内容 2023年～ 防災訓練、浅野川清掃活動の実施。

★ **まとめ** 学生発想のゲーム型防災訓練の実施で、子ども達の満足度UP。元気な学生の参加で、地域活動の雰囲気UP! 高齢者も明るく参加。

地域活動を楽しめる時間に!



地域と学生の連携のカタチ



尾張町商店街 × 金沢大学 Project: AERU

きっかけ AERU が活動場所を探す。→尾張町商店街にオファー。

活動内容 2023年～ あんやと祭りの開催、和菓子の開発PJ、地元施設の企画運営。

★ **まとめ** 広報、発信の多言語化や SNS 活用。地域が積極的に学生に働きかけ、学生側も自発的に取り組み相乗効果! 新しい魅力創出へ。

伝統ある商店街と学生の発想力の融合!

たぐさんの思いが飛び交いました

未来のまちづくりの話

Free Talk

小坂地区

小坂地区社会福祉協議会 × 金沢星稜大学 食☆活



きっかけ 小坂公民館で同じ活動をしようとした両者が知り合う。

活動内容 2022年～ 子ども食堂、子ども宅食の実施。

★ **まとめ** 社協は地域支援のノウハウ、学生は SNS 広報等、互いの得意分野を分担、質の高い地域支援に。子ども達が、世代の近い学生との交流を喜んでいる。

得意分野を活かした地域支援

多目的コミュニティスペースの展開

現在、役割分担はできているので、開催に際して支障はない。ただ、今後は役割分担をなくして、お互い協力できるようにし、交流を促したい。

今後のキーワードは「複数」。活動している公民館などを、一つの場所にするのはいいのではないかと人が集まる場所にするのはいいのではないかと

尾張町地区

コミュニケーションツールの多様化

尾張町商店街は、学生とうまくコミュニケーションが取れていたため、その手法を別団体の学生に伝授!
尾張町は月1回、合同会議をしている。地域と学生を繋ぐコーディネーター役が地域にいる。学生の主体性を尊重。ラインなど使った手軽な連絡手段。今後も、地域と学生が連携した活動を行いたい。

木倉町商店街 × 金沢まちづくり学生会議

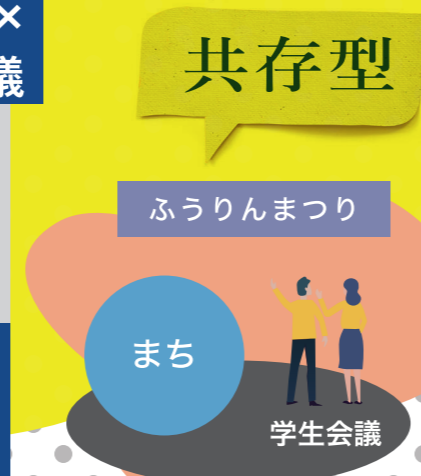


きっかけ 学生会議の拠点が同地域にできたことから連携するようになった。

活動内容 10年以上前～ 木倉町ふうりんまつりの企画・運営 まちなか学生祭りの開催

★ **まとめ** 長年の関わりから、信頼関係が出来ているので企画が出しやすい。地域と学生の絆を生み出し持続可能なまちづくりのモデルへ。

そばにいるから支え合う



協力型

目的を達成させる為、他者が力を貸す。

同じ地域にいるから、共に活動する。

協働型

それぞれの目的を達成させるため、活動を共にする。

それぞれ目的が同じだから、活動を共にする。

共存型

共同型

参加した市民からの声

大学生のやりたいことが実践できる場所として、地域を活用してもらいたい。地域の埋もれている価値を、汲み取った企画ができたら嬉しい。小さなイベントで地域を活性化してもらえれば。

【お問い合わせ】 協働をすすめる市民会議事務局 (金沢市市民協働推進課内)
Tel 076-220-2026 ☑ kyoudou@city.kanazawa.lg.jp

【発行元】 協働をすすめる市民会議

木倉町地区

「賄いツアー」による新しい交流創出

木倉町課題: 飲食店は学生バイトが欲しい。学生が飲みに来ない。
学生課題: 十分な食事を取れていない。

課題解決→賄いツアーを企画! ツアーを通じて、大学生の胃袋を掴む。マスターとお話する機会を作り、食、人に興味を持ってもらうことで、

関わり合い、交流を生むのはどうか?

伝統行事への新しい要素の導入
マンネリに悩む伝統的な地域行事がある。大学生や市民の新しい発想を取り入れたい。観光地域でもあるから、子どもや外国人など新しい層の参加を促し地域の活性化に繋げたい。